

## 1310 | 生活環境計画II

3単位（通信授業1単位、面接授業2単位）

田中克明教授、十時啓悦教授、鈴木洋教授、西川聡教授、鈴木純子准教授、萩原千春講師、高橋勇一郎講師、中島良弘講師

## 授業の概要と目標

プロダクトデザイン系クラス及びクラフトデザイン系各素材別クラスに分かれて授業を行う。プロダクトデザイン系では、各自テーマを設定し、問題提起、調査、企画、デザイン提案までの各内容の掘り下げた学習を行い、デザイン計画書としてのプレゼンテーションの研究を行う。クラフトデザイン系では、技術の習得を中心とした実習の流れにおいて、実在を用いた作品制作と、その目的や役割などの学習も行う。※クラフトデザイン系の金工クラス、木工クラスについては、平成28年4月以降の入学生は選択不可。平成27年10月以前の入学生については選択可能だが、当該クラスの開講は平成31年度までとなるので注意すること。

## 課題の概要

プロダクトデザイン系クラス及びクラフトデザイン系各素材別クラスは、それぞれ別課題とする。

## ○面接授業および通信授業課題

## プロダクトデザイン系

各自デザインテーマを設定する。設定の理由、背景、問題点、デザイン提案などを纏めたプランを予習として、面接授業初日に持参すること。面接授業ではプランの評価と内容の再検討を行い、小論文の構成と論理的な表現形式に則ったデザイン提案書にまとめ、プレゼンテーションを行う。通信授業では面接授業で作成したデザイン提案書を基にデザイン計画書を作成する。

## クラフトデザイン系

## ・テキスタイルクラス

面接授業において、インテリアファブリックス（椅子張り、車両シートなど）を研究する。マップ制作を通してデザイン提案を行う。

コンピュータを使用したデザインプロセスの学習とプレゼンテーションを行う（実材実習は行わない）。通信授業においても同様のデザインを行う。

## ・陶磁クラス

通信授業において鋳込製品の調査を行う。それを基にして、注器（ピッチャー）のアイデアスケッチを行う。

面接授業では、アイデアスケッチを基にしてデザインに検討を加えて石膏による鋳込型を作り、鋳込み泥しょうを用いて注器を制作する。

## ・金工クラス ※平成28年4月以降の入学生は選択不可

面接授業において、すり出しによる指輪（シルバー）の制作を行う。通信授業では鋳造によるジュエリーの制作。

## ・木工クラス ※平成28年4月以降の入学生は選択不可

## 小テーブルの制作

・通信授業では、あらゆるシーンで使われるテーブルについてマーケットリサーチを行い、レポートに纏める。

面接授業でテーブルの制作をするので、デザイン案を数点、スケッチ及びラフ図面を書く。

デザインは面接授業で制作出来る大きさを考慮し、複雑なデザインは避ける事。

・面接授業では通信授業課題で用意したデザイン案を基にモデルや図面による検討のうえデザインを決定する。この科目ではテーブルのデザイン、制作を通して、機能と造形の関係、構造、加工方法などの基本を学習する。

\*課題については学習指導書『生活環境計画I・II／生活環境デザイン研究／卒業制作 平成29年度』を必ず参照すること。

## 授業計画

プロダクトデザイン系

予習



面接授業



通信授業

クラフトデザイン系

テキスタイルクラス

金工クラス

面接授業



通信授業

クラフトデザイン系

陶磁クラス

木工クラス

通信授業



面接授業

## [面接授業]

プロダクトデザイン系

前提講義後、各自のプランを発表、グループワークによる各自テーマの評価と内容の検討を行い、小論文形式にまとめたものを発表し講評を行う。

クラフトデザイン系、テキスタイルクラス、金工クラス

前提講義に続いて、各工房においてデザイン計画、実材による作品の制作を行い、最終日に講評となる。

クラフトデザイン系、陶磁クラス、木工クラス

前提講義、通信授業課題の発表に続いて、デザイン作業、作図制作を行なう。

## [通信授業]

プロダクトデザイン系

面接授業で纏めた各自テーマの小論文を、デザイン計画書として、ビジュアル的にまとめて表現、提出する。

クラフトデザイン系、テキスタイルクラス、金工クラス

面接授業をふまえて、各素材別クラスごとに課題を提出する。詳細は面接授業最終日に説明する。

クラフトデザイン系、陶磁クラス、木工クラス

学習指導書にしたがって学習し、面接授業初日に必ず持参する。

## 成績評価の方法

通信授業と面接授業の総合評価とする。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 4年次

[履修条件] 生活環境デザインコース3年次必修科目の単位をすべて修得していること（「学生ハンドブック」p.049の特例を除く）。

[備考] 工芸工業デザイン学科生活環境デザインコース4年次必修科目。スクーリングは課題内容の順序性により生活環境計画Ⅱ→生活環境計画Ⅰで受講することが望ましい。

## 教材等

教科書：横溝健志、田中克明編『生活環境デザイン』（武蔵野美術大学出版局 2003年）

田中克明監修『プロダクトデザインの発想』（武蔵野美術大学出版局 2006年）

横溝健志 監修『工芸』（武蔵野美術大学出版局 2002年）

田中秀穂 監修『テキスタイル 表現と技法』（武蔵野美術大学出版局 2007年）

小松誠 監修『陶磁 発想と手法』（武蔵野美術大学出版局 2009年）

十時啓悦 監修『木工 樹をデザインする』（武蔵野美術大学出版局 2009年）

学習指導書：『生活環境計画Ⅰ・Ⅱ／生活環境デザイン研究／卒業制作 平成29年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）